

【代表銘柄と参加酒蔵】(酒蔵名50音順)

- 「秋鹿」**
あきしか
 能勢は大阪の最北端、北摂の山麓に位置し、清冽な水と清浄な空気に恵まれた所です。当蔵は「米作りから酒造りまで一貫づくり」をモットーとし、蔵元自営田で至極の酒米、山田錦を直栽培しております。平成十五年十月の製造より全量純米酒の蔵になりました。
- 「三輪福」**
みわふく
 “だんじり”で有名なこの地は、祭りにつきもののように数々の銘酒を生み出してきました。そのひとつが「三輪福」です。文政元年の創業以来、男気あふれる気風と新鮮な海幸の味覚に鍛えられた芳醇な味わいが特長。酒路には酒の神様“三輪明神”にちなんでいます。
- 「荘の郷」**
しょうのさと
 荘の郷、北シリーズ、上神谷、都娘を造る、日本遺産認定「日根荘」の風景が息づく恵まれた地に大正10年創業、関西国際空港の対岸、泉佐野市唯一の醸造蔵。量より質の酒造り”を信念とし、外部から蔵人を雇わず、社員社氏を中心に「全社員が、全工程を、昔ながらの手作業にて造る」高品質な特定名称酒を中心に扱っております。
- 「清鶴」**
きよつる
 近郷の優良米と阿武山山系の清水で醸され、江戸の酒徒から“純で濁らず、香りの良さとコクが身上”と称えられた“富田酒”。その持味を追求するため五味調和をモットーに、繊細で知られる但馬杜氏がその五感を駆使して酒造りに取り組んでいます。
- 「國乃長」**
くにのちよう
 摂津国富田郷は、江戸への下り酒の産地として名声をはせました。酒路はその摂津国文政五年の創業以来、五百年と言われる歴史を持つ「富田酒」の伝統を頑なに守り続ける一方、新しい酒を追求し続ける酒蔵です。
- 「呉春」**
ごしゅん
 池田の街は、元禄の昔から伊丹とともに銘醸地として知られていました。酒路の「呉」は池田の古い雅称「呉服の里(くれはのさと)」に由来し池田のこと。「春」は中国の唐時代の通語で「酒」のこと。五月山の伏流水で醸される「呉春」は池田の酒の意。小売・蔵見学は行っていません。
- 「天野酒」**
あまのさけ
 中世「天野比類無シ」「美酒言語二絶ス」と謳われ、太閤秀吉をはじめ多くの英雄たちが愛飲した曾坊酒「天野酒」。歴史に残る酒路を天野山金剛寺の好意を得て、享保三年よりこの地で酒造業を営む蔵元が復活させたものです。「甘さこそ日本酒の真髄」が蔵元のモットー。
- 「大門」**
だいもん
 清少納言が「野はかた野」と讃え、いにしへの狩場として名高い河内交野の磐船村に文政九(1826)年創業。生駒山脈の濃い山並に抱かれ、清冽な湧水に恵まれたこの地で、日本酒の伝統と本質を頑に守り続けることを誇りに、酒造りにいそしんでいます。
- 「長龍」**
ちようりゆう
 長龍の酒造りの心は「昇道に窮極無し」。旨い酒・良い酒を造りたいという気持ちは無限である。この言葉を胸に、南部流平野派を源流とする酒造りに精進しています。蔵人は「長龍の味」を醸し出すために、先人たちが築き上げてきた技術を伝承し、さらに新しい工夫を加え酒造りに挑んでいます。
- 「元朝」**
がんちよう
 「吟醸」というクオリティにこだわり、香りと独特の旨みを大切に、丁寧に醸造することを信念に酒造りをしております。だんじり祭りの心意気が酒に生きている、キリッとき引き締まった辛口の酒をお楽しみください。
- 「浪花正宗」**
なにわまさむね
 江戸寛政年間創業以来二百五十年、泉州の尾崎で酒造り一筋に少なくて来た蔵元。酒蔵の井戸水は、濃の宮水と同じ硬水で酒造りに最適。酒蔵は、国の登録有形文化財に指定された昔ながらの趣のある本造の蔵。モットーは、あくまでも手造りで心のこもった酒造り。
- 「千利休」**
せんりのきゅう
 伝統と歴史、界の地酒を復興させようと、利休蔵を設立、酒造りに懸ける想いが米や水を厳選し手作りでこだわる日本酒「千利休」の秘訣です。そして未来へ、銘酒を作り続ける信念を繋ぎ続けたいと考えています。
- 「片野桜」**
かたのさくら
 平安の昔、貴族たちが桜狩りなど野遊びの地としてこよなく愛でた交野の里。天野川の清流とその流域に広がる沃野に恵まれたこの地は、江戸時代には多くの酒造家を生みました。その歴史と伝統を受け継ぎ、桜花のように“ほんやり”とした趣きの酒造りにいそしんでいます。
- 「緑一」**
みどりいち
 室町時代に始まり江戸時代に全盛を迎えた池田の酒造り。元禄十年、加茂屋平兵衛により創業の蔵、その三百余年の伝統を受け継ぎ「澄んだ酒の最初」を意味する「緑一」。まろやかな味と香りが特長です。

秋鹿酒造(有)
豊能郡能勢町倉垣1107
☎072-737-0013

井坂酒造場
岸和田市稲葉町117
☎072-479-0074

(有)北庄司酒造店
泉佐野市日根野3173
☎072-468-0850

清鶴酒造(株)
高槻市富田町6-5-3
☎072-696-0014

壽酒造(株)
高槻市富田町3-26-12
☎072-696-0003

呉春(株)
池田市綾羽1-2-2
☎072-751-2023

西條(資)
河内長野市長野町12-18
☎0721-55-1101

大門酒造(株)
交野市森南3-12-1
☎072-891-0353

長龍酒造(株)八尾蔵
八尾市安中町1-1-29
☎072-923-6071

寺田酒造(有)
岸和田市並松町22-30
☎072-422-0601

浪花酒造(有)
阪南市尾崎町3-13-6
☎072-472-0032

(株)利休蔵
堺市堺区甲斐町西3丁3-4
☎072-222-0707

山野酒造(株)
交野市私部7-11-2
☎072-891-1046

吉田酒造(株)
池田市栄本町7-10
☎072-751-2063

【チケットについて】

前売券 1,500円(金券150円×10枚付)
天満大酒会特製おちょこ進呈
 会場受付に前売券をお持ちください。特製おちょこを進呈いたします。
 前売券は下記で販売しております。
 ・大阪府小売酒販組合連合会加盟の酒屋さん
 ・参加蔵元さん
 ・Yahoo! パスマーケット
 チケットには試飲に使える金券が付いています。特製おちょこがもらえる前売券をぜひともお求めください。
Yahoo!パスマーケットでのご購入はこちら▲

当日券 1,500円(金券150円×10枚付)
ご注意
 当日券でご入場の方は、会場内で販売しております。「天満大酒会特製おちょこ」(1個500円/税込)をお買い求めください。天満大酒会特製おちょこをお持ちでない方の試飲はできません。

【試飲について】

- 1杯150円からご提供しております。チケットに付属の金券でお支払いください。
- 会場で販売する特製おちょこでの試飲に限らせていただきます。前売券をお持ちの方は特製おちょこを進呈いたします。当日券でご入場の方は、会場内でお求めください。

【お問い合わせ先】

大阪酒販青年会 06-6761-9331 大阪府酒造組合 06-4792-8533
 ※当日、車でのご来場は固くお断りします。
 ※年齢の確認をさせていただく場合があります。(20歳未満の方の試飲はできません)
 ※お酒はおいしく適量を。
 ※飲酒運転は絶対にやめましょう。
 ※妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児、乳児の発育に影響する恐れがあります。
 ※会場内は禁煙です。喫煙は二階の喫煙室でお願い致します。

全国きき酒選手権大会 大阪府代表選考会 開催!

OAP内特設会場にて約1時間、筆記問題と酎酒をさせていただきます
 ■5月28日(日)
 13時 天満大酒会 会場受付集合(時間厳守)
 ■参加費 1,000円
 ※事前予約必須(酒造組合06-4792-8533)
 ※定員になり次第締め切らせていただきます。

成績上位2名は10月に東京で開催される全国きき酒選手権大会への出場権利を獲得!!
 ※往復の交通費支給 ※辞退可能

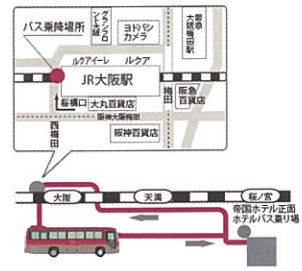
OAP特設会場までのアクセス



- JR大阪環状線「桜ノ宮」駅 西口より徒歩5分
- JR東西線「大阪天満宮」駅 1番出口より徒歩7分
- 地下鉄谷町線・堺筋線「南森町」駅 3番出口より徒歩10分
- 梅田より無料シャトルバス運行

無料シャトルバスのご案内

帝国ホテル正面発 ↔ 梅田(JR大阪駅)直行便
 【帝国ホテル前】 始発 8:20 最終 22:00 20分間隔にて運行
 【JR大阪駅】 始発 8:00 最終 21:40
 ※帝国ホテルバスもご利用いただけます。
 ※時刻は交通事情により多少変動しますのでご了承ください。
 ※運行時間は変更になる場合がありますため、帝国ホテル大阪のホームページにてご確認ください。



20歳未満の者の飲酒は法律で禁じられています。

年齢確認に
ご協力ください

年齢確認などの実施は法律で定められています。

CASHIER

20歳未満の者の飲酒を防止するため、酒類小売店では法律に基づき年齢確認を実施しています。
 2022年4月から民法の成年年齢は18歳に引き下げられますが、飲酒に関する年齢制限は20歳のまま維持されます。

国税庁、厚生労働省、内閣府、警察庁、文部科学省、公益社団法人アルコール健康医学協会、全国小売酒販組合中央会、日本チェーンストア協会、一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会、一般社団法人日本ボランティアチェーン協会、一般社団法人全国スーパーマーケット協会